

令和4年度 当初予算の概要



あすに向かって人の花咲く
やすらぎと感動の郷土 阿波市

予算総括表（歳入）	1
（歳出）	3
特別会計及び企業会計	5
当初予算の概要	7

阿波市財政課

令和4年度 一般会計当初予算（案） 総括表

1. 款別歳入の内訳

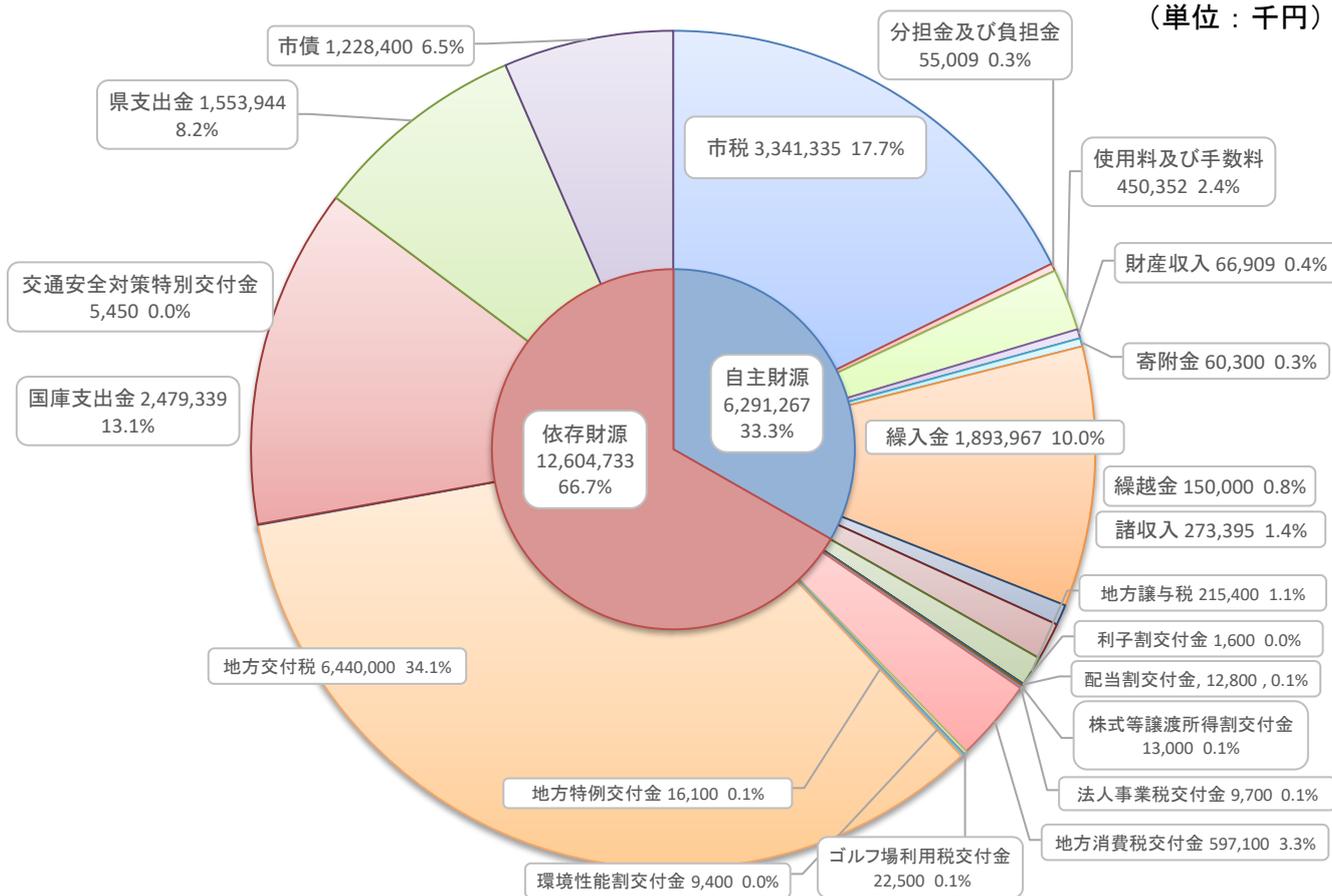
（単位：千円、％）

区分	款別	令和4年度		令和3年度		前年度との比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
自主財源	市 税	3,341,335	17.7	3,296,619	17.5	44,716	1.4
	分担金及び負担金	55,009	0.3	53,587	0.3	1,422	2.7
	使 用 料	383,534	2.0	384,734	2.0	△ 1,200	△ 0.3
	手 数 料	66,818	0.4	66,879	0.4	△ 61	△ 0.1
	財 産 収 入	66,909	0.4	43,990	0.2	22,919	52.1
	寄 附 金	60,300	0.3	50,301	0.3	9,999	19.9
	繰 入 金	1,893,967	10.0	1,668,482	8.9	225,485	13.5
	繰 越 金	150,000	0.8	150,000	0.8	0	0.0
	諸 収 入	273,395	1.4	288,829	1.5	△ 15,434	△ 5.3
	小 計	6,291,267	33.3	6,003,421	31.9	287,846	4.8
依存財源	地 方 譲 与 税	215,400	1.1	224,900	1.2	△ 9,500	△ 4.2
	利子割交付金	1,600	0.0	1,700	0.0	△ 100	△ 5.9
	配当割交付金	12,800	0.1	12,900	0.1	△ 100	△ 0.8
	株式等譲渡所得割交付金	13,000	0.1	13,500	0.1	△ 500	△ 3.7
	法人事業税交付金	9,700	0.1	16,700	0.1	△ 7,000	△ 41.9
	地方消費税交付金	597,100	3.2	622,500	3.3	△ 25,400	△ 4.1
	ゴルフ場利用税交付金	22,500	0.1	23,900	0.1	△ 1,400	△ 5.9
	環境性能割交付金	9,400	0.0	9,600	0.1	△ 200	△ 2.1
	地方特例交付金	16,100	0.1	16,100	0.1	0	0.0
	地 方 交 付 税	6,440,000	34.1	6,337,000	33.7	103,000	1.6
	普通交付税	6,040,000	32.0	5,937,000	31.6	103,000	1.7
	特別交付税	400,000	2.1	400,000	2.1	0	0.0
	交通安全対策特別交付金	5,450	0.0	5,100	0.0	350	6.9
	国 庫 支 出 金	2,479,339	13.1	2,534,180	13.4	△ 54,841	△ 2.2
	県 支 出 金	1,553,944	8.2	1,571,199	8.3	△ 17,255	△ 1.1
市 債	1,228,400	6.5	1,431,300	7.6	△ 202,900	△ 14.2	
小 計	12,604,733	66.7	12,820,579	68.1	△ 215,846	△ 1.7	
合 計	18,896,000	100.0	18,824,000	100.0	72,000	0.4	

(歳入グラフ)

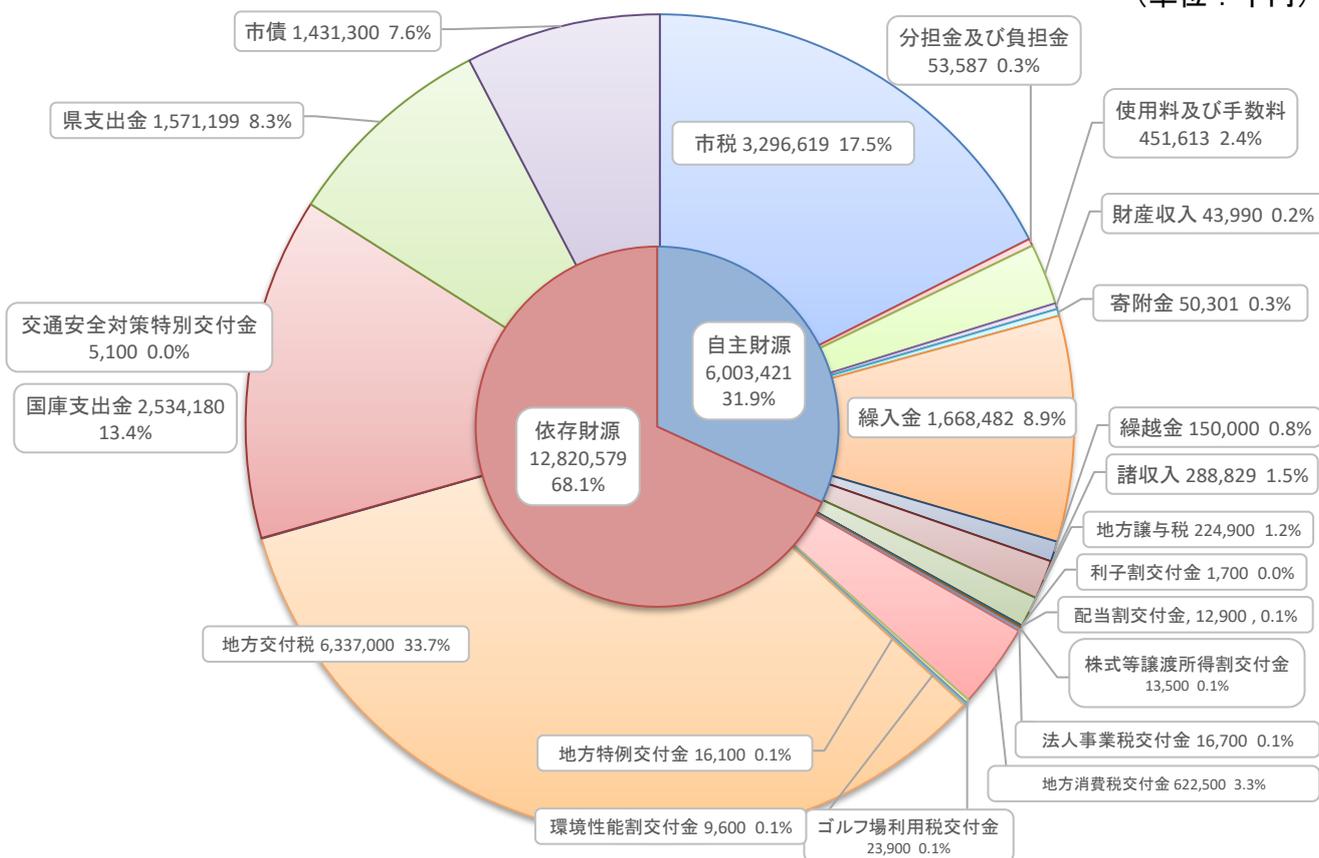
令和4年度

(単位：千円)



令和3年度

(単位：千円)



令和4年度 一般会計当初予算（案） 総括表

1. 性質別歳出の内訳

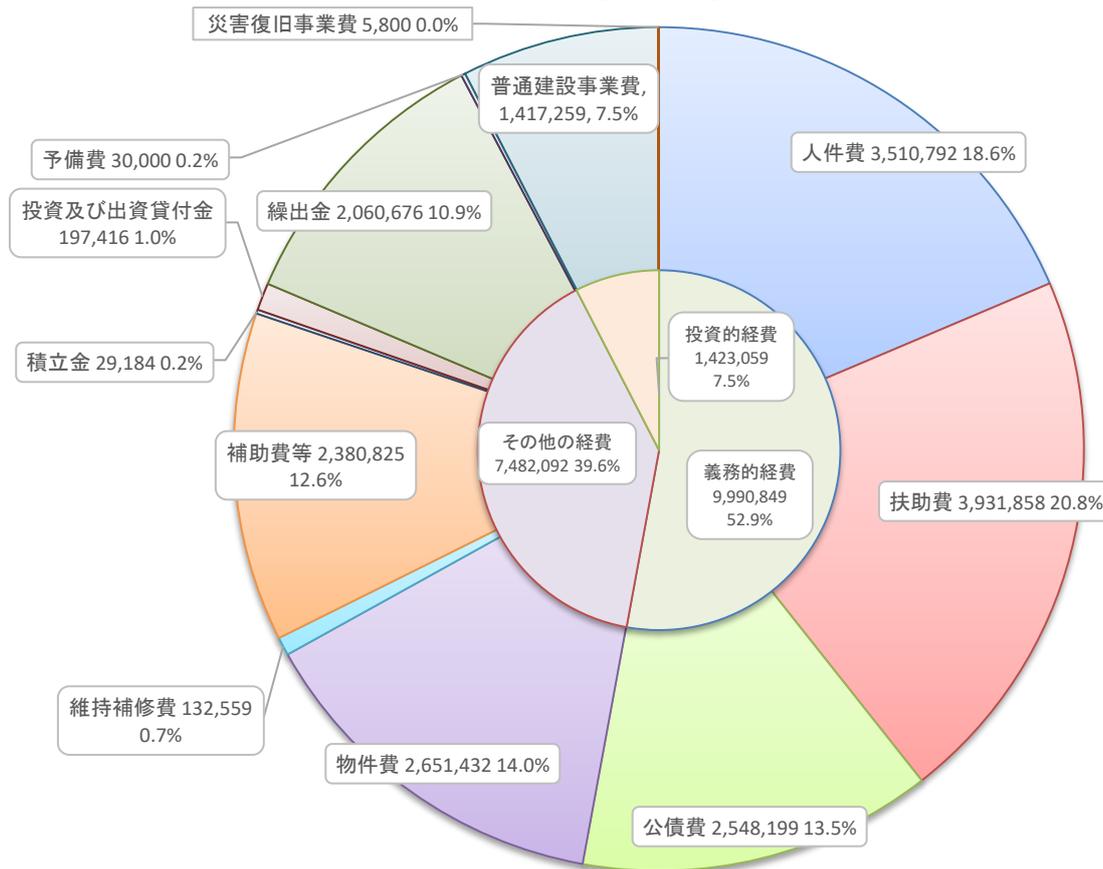
（単位：千円、％）

性質	区 分	令和4年度		令和3年度		前年度との比較	
		予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
義務的経費	人 件 費	3,510,792	18.6	3,487,351	18.5	23,441	0.7
	扶 助 費	3,931,858	20.8	3,907,317	20.8	24,541	0.6
	公 債 費	2,548,199	13.5	2,434,862	12.9	113,337	4.7
	小 計	9,990,849	52.9	9,829,530	52.2	161,319	1.6
投資的経費	(1) 普通建設事業	1,417,259	7.5	1,422,142	7.6	△ 4,883	△ 0.3
	補 助 事 業	249,817	1.3	89,573	0.5	160,244	178.9
	単 独 事 業	1,167,442	6.2	1,332,569	7.1	△ 165,127	△ 12.4
	(2) 災害復旧事業	5,800	0.0	5,800	0.0	0	0.0
	(3) 失業対策費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小 計	1,423,059	7.5	1,427,942	7.6	△ 4,883	△ 0.3
その他の経費	物 件 費	2,651,432	14.0	2,742,090	14.6	△ 90,658	△ 3.3
	維 持 補 修 費	132,559	0.7	112,068	0.6	20,491	18.3
	補 助 費 等	2,380,825	12.6	2,380,663	12.6	162	0.0
	積 立 金	29,184	0.2	30,285	0.2	△ 1,101	△ 3.6
	投資及び出資貸付金	197,416	1.0	189,616	1.0	7,800	4.1
	繰 出 金	2,060,676	10.9	2,081,806	11.1	△ 21,130	△ 1.0
	予 備 費	30,000	0.2	30,000	0.1	0	0.0
	前年度繰上充用金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小 計	7,482,092	39.6	7,566,528	40.2	△ 84,436	△ 1.1
合 計	18,896,000	100.0	18,824,000	100.0	72,000	0.4	

(歳出・性質別グラフ)

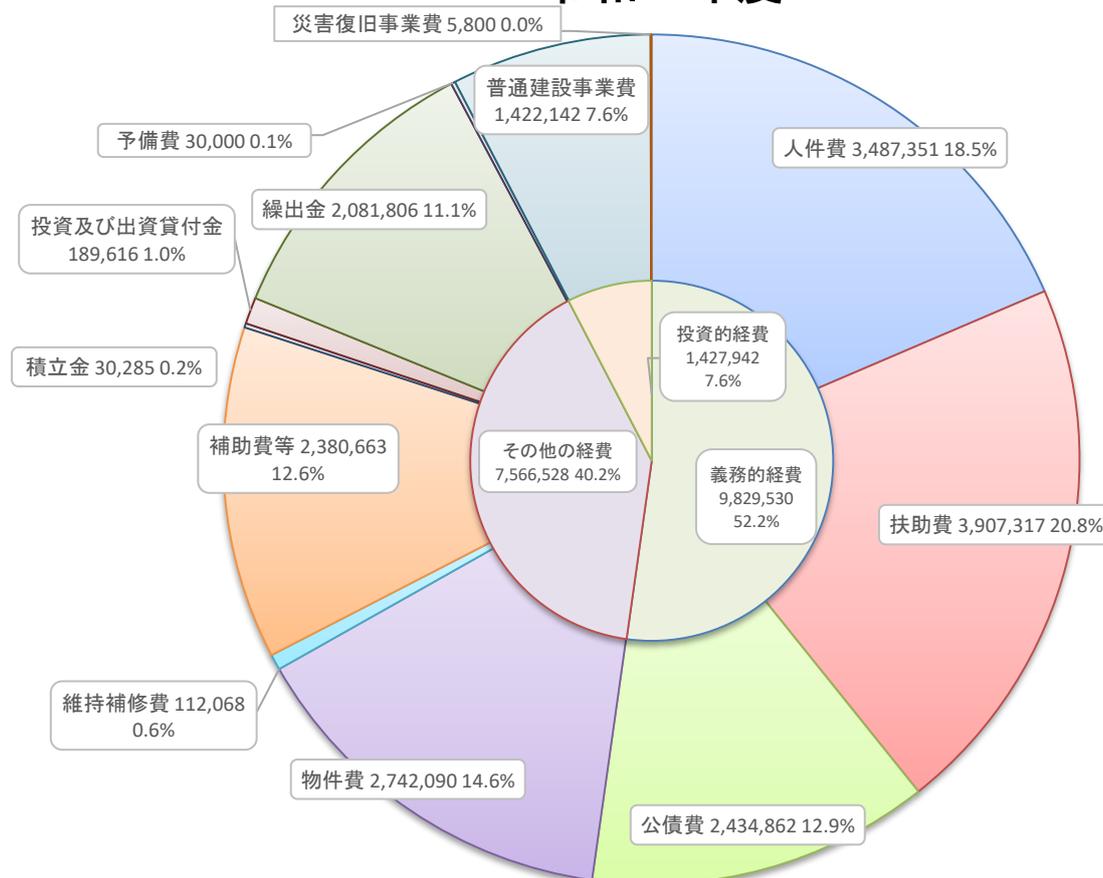
令和4年度

(単位：千円)



令和3年度

(単位：千円)



令和4年度 一般会計当初予算（案） 総括表

2. 款別歳出の内訳

（単位：千円、％）

款	別	令和4年度		令和3年度		前年度との比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1	議会費	178,872	0.9	185,472	1.0	△ 6,600	△ 3.6
2	総務費	2,359,340	12.5	2,336,248	12.4	23,092	1.0
3	民生費	7,294,658	38.6	7,316,856	38.9	△ 22,198	△ 0.3
4	衛生費	2,114,477	11.2	2,383,736	12.7	△ 269,259	△ 11.3
5	労働費	1,721	0.0	1,758	0.0	△ 37	△ 2.1
6	農林水産業費	746,071	3.9	735,397	3.8	10,674	1.5
7	商工費	196,120	1.0	208,440	1.1	△ 12,320	△ 5.9
8	土木費	1,299,890	6.9	954,558	5.1	345,332	36.2
9	消防費	655,617	3.5	650,472	3.5	5,145	0.8
10	教育費	1,436,051	7.6	1,550,116	8.2	△ 114,065	△ 7.4
11	災害復旧費	5,800	0.0	5,800	0.0	0	0.0
12	公債費	2,548,199	13.5	2,434,862	12.9	113,337	4.7
13	諸支出金	29,184	0.2	30,285	0.2	△ 1,101	△ 3.6
14	予備費	30,000	0.2	30,000	0.2	0	0.0
合計		18,896,000	100.0	18,824,000	100.0	72,000	0.4

令和4年度 特別会計当初予算（案） 総括表

（単位：千円、％）

区	分	令和4年度	令和3年度	前年度との比較	
		予算額	予算額	増減額	増減率
1	御所財産区	17,517	17,017	500	2.9
2	国民健康保険	4,498,987	4,465,577	33,410	0.7
3	後期高齢者医療	568,982	529,408	39,574	7.5
4	住宅新築資金等貸付事業	1,760	1,923	△ 163	△ 8.5
5	介護保険	4,475,376	4,485,701	△ 10,325	△ 0.2
6	農業集落排水事業	143,153	150,957	△ 7,804	△ 5.2
合計		9,705,775	9,650,583	55,192	0.6

令和4年度 水道事業会計当初予算 総括表

1. 収益的収支

(単位：千円)

収 入		支 出	
1. 営業収益	644,367	1. 営業費用	610,221
(1) 給水収益	626,715	(1) 原水及び浄水費	147,290
(2) 受託工事収益	11,300	(2) 配水及び給水費	82,153
(3) その他営業収益	6,352	(3) 受託工事費	11,300
2. 営業外収益	39,842	(4) 総係費	143,720
(1) 受取利息及び配当金	400	(5) 減価償却費	224,097
(2) 他会計負担金	1,136	(6) 資産減耗費	861
(3) 長期前受金戻入	34,366	(7) その他営業費用	800
(4) 雑収益	3,939	2. 営業外費用	35,228
(5) 消費税及び地方消費税還付金	1	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	23,177
3. 特別利益	2	(2) 消費税及び地方消費税	12,000
(1) 過年度損益修正益	1	(3) 雑支出	51
(2) その他特別利益	1	3. 特別損失	1,001
		(1) 過年度損益修正損	1,000
		(2) その他特別損失	1
		4. 予備費	1,000
		(1) 予備費	1,000
収入合計	684,211	支出合計	647,450

2. 資本的収支

(単位：千円)

収 入		支 出	
1. 出資金	194,800	1. 建設改良費	530,404
(1) 出資金	194,800	(1) 配水施設費	504,339
2. 工事負担金	7,801	(2) 配水設備費	20,001
(1) 工事負担金	7,801	(3) 営業設備費	6,064
3. 国庫補助金	1	2. 企業債償還金	94,271
(1) 国庫補助金	1	(1) 企業債償還金	94,271
4. 企業債	240,000	3. 国庫返還金	1
(1) 企業債	240,000	(1) 国庫返還金	1
5. 保険金	1	4. 予備費	1,000
(1) 保険金	1	(1) 予備費	1,000
収入合計	442,603	支出合計	625,676

令和4年度 当初予算の概要

令和3年度は全国各地で「新型コロナウイルス感染症」が猛威を振るう中、迅速に進めてきたワクチン接種の効果もあり、新型コロナウイルスの感染状況は一旦落ち着いていましたが、新たにオミクロン株が世界中で流行し、日本においても感染者が急拡大しています。

政府では、昨年12月に「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として55.7兆円の大型補正予算を成立させ、新型コロナウイルスや経済対策への取組を進めており、本市においても県や関係機関と連携を図り、スピード感をもって対応し、感染拡大防止を進める必要があります。

また、本市の持続的発展と魅力あるまちづくりのためには、新型コロナウイルスへの的確な対応を講じた上で、産業振興や地方創生の取組、デジタル化の推進、移住・定住の促進などに努めなければなりません。

令和4年度の予算編成に当たっては、厳しい財政運営を見込み、経常的な歳出予算のうち物件費では7%のマイナスシーリングなど歳出の見直しを徹底しながら、「子育て応援のまちづくり」を積極的に進めるとともに、幹線道路等のインフラ整備にも予算配分するバランスの取れた予算とし、一般会計の予算を前年度比0.4%増となる188億9,600万円といたしました。

今後も阿波市の発展に繋げるため、「安全・安心のまちづくり」、「活力あふれるまちづくり」、「子育て応援のまちづくり」を施策の中心に据え、市民が真に必要な施策を着実に実行してまいります。

I 安全・安心のまちづくり

新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らしを守ります。

行政手続きのオンライン化を進め、市民の利便性の向上や市民サービスの迅速化を図ります。

市民の皆様の安全・安心を守る消防団の車両更新や排水機場等の整備に取り組みます。

II 活力あふれるまちづくり

農業を中心とする地域経済の活性化を図るため、「新規就農者の確保」を進めるとともに、本市農業の維持・発展を目指します。

道路インフラ施設を整備し、アクセス向上による企業誘致や地域活性化を図ります。

III 子育て応援のまちづくり

子ども家庭総合支援拠点を設置するなど、子育て世代を応援します。

放課後児童クラブや義務教育施設を整備し、子どもたちが快適で安心して学ぶことができる環境整備を進めます。

I 安全・安心のまちづくり

☆ 新型コロナワクチン接種対策事業

継続

139,913千円

令和3年度より新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、市民の健康を守るため、ワクチンの接種に必要な体制を構築しています。

令和4年度においても3回目の接種が円滑に進むよう、関係機関と連携し引き続き接種体制の確保に努めることで市民の安全・安心な暮らしを守ります。



〔ワクチンのイメージ〕

☆ 行政DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業

40,022千円

- 行政手続きオンライン化改修事業(25,440千円)
子育て関連(15手続)や介護関連(11手続)の申請手続きについて、マイナポータルを經由してオンラインで申請を可能とするために業務システムを改修し、住民の申請手続きに係る利便性の向上やサービスの迅速化を図ります。



- 社会保障・税番号制度システム整備事業(10,054千円)

戸籍事務へのマイナンバー制度導入等を目的とする法改正がなされたことに伴い、戸籍情報システムを改修し、本籍地以外の市区町村のデータ参照や他の行政機関との情報連携を可能とすることで、戸籍事務の効率化を図ります。

- 基幹税務システム改修事業(4,528千円)

国のICT化の推進に伴い、eLTAXの共通納税システムの税目拡張、納付書へのQRコードの記載、軽自動車ワンストップサービスや自動車税納付確認システム(JNK S)に対応するため、基幹税務システムを改修し、納税環境の利便性の向上を目指します。

- 行政情報の戦略的情報発信推進事業(ゼロ予算事業)

近年、社会のデジタル化が進んでおり、自治体の情報発信分野においてもデジタル化に対応していかなければならない状況にあります。

そのため、本市ではプロジェクトチームを立ち上げ、SNSの活用や民間との連携等を検討しつつ、デジタル化に則した情報発信等に対応し、市民生活の利便性の向上に繋げることのできる行政サービスの展開を目指します。

☆ 就労準備支援事業



7,000千円

自立相談支援機関の相談を受けた方で、直ちに一般就労が困難な方に対して、それぞれの状況に応じた就労準備プログラムを作成し、これに沿って就労に向けた基礎能力形成の支援や就労体験機会の提供などの支援を行うことで、生活困窮者の自立を促進できる環境づくりを目指します。

☆ 中核機関相談事業



198千円

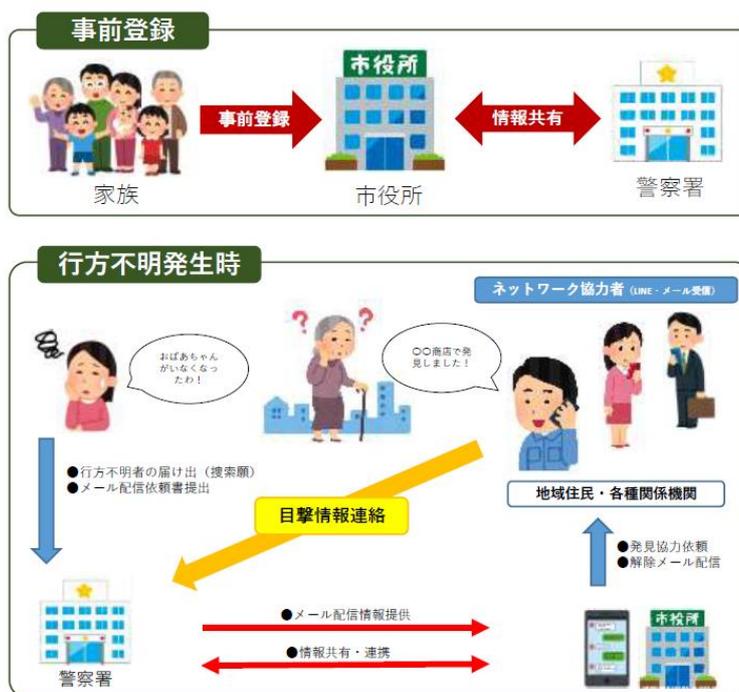
市町村長申立に限らず、成年後見制度を利用したいと考えている住民の相談窓口となり、助言や支援を行うことで、全国どこに住んでいても権利擁護支援が届く体制を整えます。

☆ 認知症高齢者等見守り支援事業



250千円

認知症の方等が行方不明になった際に、本人の特徴などをSNS等で情報発信し、地域で連携して早期発見につなげるしくみづくりを行うとともに、徘徊の恐れがある認知症高齢者等の家族等が位置情報サービスによる見守りを行う場合に、見守り支援機器（GPS機器）の購入費又はレンタルに要した費用の一部を補助し、高齢者の安全の確保や家族等の身体的・精神的負担の軽減を図ることで、安心して介護のできる環境づくりを目指します。



〔事業フロー図〕

☆ 地域住宅支援事業



55,407千円

阿波市公営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の長寿命化改善工事を行います。令和4年度においては、大野島団地・箸供養団地・池田団地の外壁や屋根等の改修工事及び設計を行い、市営住宅の住環境の維持改善を図ります。

☆ 消防団車両整備事業



20,000千円

阿波市吉野方面消防団は、7つの分団すべてに消防ポンプ車等を配備していますが、全車両が導入後18年以上経過していたことなどから、令和2年度から更新を行っています。令和4年度は、最終年度（3年目）となり、2台を整備することで吉野方面の消防車両の更新が完了します。



〔令和2年度購入消防車両〕



〔消防車両での訓練風景〕

吉野方面消防車両更新実績

吉野方面すべての消防車両を更新完了予定！

吉野方面消防団	令和2年度	令和3年度	令和4年度
第1分団	消防車更新		
第2分団			消防車更新
第3分団	消防ポンプ車更新		
第4分団		消防車更新	
第5分団	消防ポンプ車更新		
第6分団		消防車更新	
第7分団			消防車更新

〔阿波市吉野方面消防団車両の更新実績〕

☆ WITHコロナ事前避難促進事業



800千円

災害時、特に配慮が必要な方が「事前避難」として「ホテル・旅館等」を利用した場合、宿泊費の一部を補助することにより、コロナ禍における要配慮者の安全確保を図ります。



☆ 迷惑電話防止機能付電話機等購入補助事業

継
続

300千円

特殊詐欺や悪質商法など電話を介した詐欺被害や消費者被害が多発しており、これらの被害を防止するため、在宅時間が長く被害に遭いやすい高齢者を対象に「迷惑電話防止機能付電話機等」の購入費の一部を助成します。

購入費用を補助し、機器の設置を促すことによって被害の防止を図り、安全安心のまちづくりを推進します。



消費者庁イラスト集より

☆ 排水機場等整備事業（県営土地改良事業）

継
続

45,400千円

本市の排水機場は、建設以来20年以上経過し老朽化が進んでいることから、電気設備等の整備を行うことで排水機能を向上させ、周辺地域の安全確保や農業被害の防止を図り安全なまちづくりを推進します。



〔整備予定の排水機場の写真〕



〔整備予定の排水機場の位置図〕

Ⅱ 活力あふれるまちづくり

☆ 阿波市で暮らそう!!住宅購入支援事業

新規

10,000千円

若者世代が本市の区域内で住宅の購入に要した費用の支援を行い、子育て世帯、UIJターン者、誘致企業の従業員等の定住を促進することにより、定住人口の増加と地域活性化を図ります。

支援内容

阿波市内において40歳以下の方が住宅を購入した場合、その購入費用の一部を補助

基本額 新築住宅：30万円 中古住宅：15万円

加算条件：以下の条件ごとに5万円を加算（最大20万円）

- ① 中学生以下の子どもがいる子育て世帯
- ② 申請者が阿波市に住所を有して1年以内
- ③ 本市と企業立地に関する連携協定を締結した企業の社員
- ④ 補助対象住宅を市内業者が建設又は販売

☆ 移住促進情報発信事業

新規

1,079千円

「阿波市の魅力」の一つである「子育てするなら阿波市」のキャッチフレーズを中心に、様々な媒体を活用した情報発信を展開し、移住希望者に阿波市の魅力を知ってもらうことにより、定住・移住人口の増加や地域活性化を図ります。

☆ デマンド型乗合交通事業

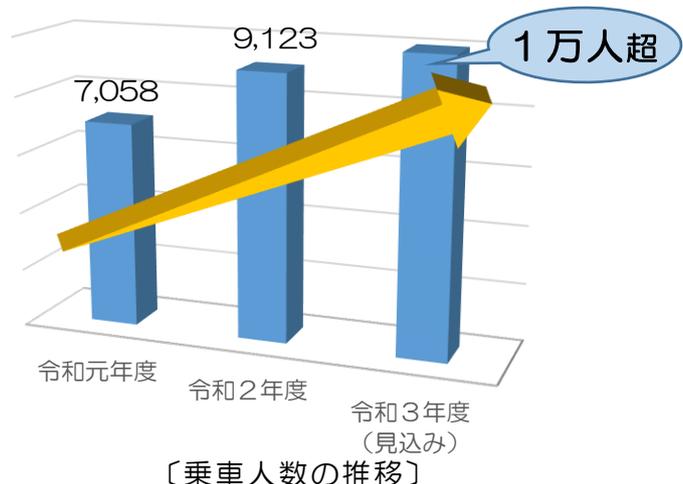
継続

30,132千円

「阿波市デマンド型乗合交通 あわめぐり」は、公共交通空白地域の解消と市民ニーズに沿った新たな交通モードとして、令和元年度から運行を開始しました。

乗車人数は、令和元年度は延べ7,058人／年、令和2年度は延べ9,123人／年と増加しており、令和3年度は延べ1万人を超える見込みです。

今後とも、より一層、市民の皆様にご親しまれ、効率的で満足いただける地域公共交通を目指し運行してまいります。



☆ 第3次農業振興計画策定事業

新規

3,410千円

農業従事者の高齢化や担い手不足の深刻化、また近年ではロボット、AI、IoT等を活用したスマート農業への変革、さらに農業分野における環境負荷軽減の推進など、本市農業が大きな転換期を向かえていることから、現行の「農業振興計画」を見直し、時代のニーズに即した「第3次阿波市農業振興計画」を策定します。

☆ 農業人材力強化総合支援事業

継続

122,660千円

農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、新規就農者の農業経営の確立・発展を支援する就農資金の交付、また就農直後に必要となる農業機械の導入や施設整備に対する支援を拡充することにより、次世代を担う農業者の育成・確保を推進します。

☆ 阿波ベジ活性化魅力発信事業

継続

2,500千円

近年の農業振興は、農業者だけでなく、市民や民間団体、行政など多様な主体の協働が求められていることから、子どもから大人まで幅広い年齢層に本市産野菜・果物の魅力を伝えることができる人材・団体を育成し、農産物のブランド化や地産地消、食育等の推進を図ります。

☆ 農山漁村未来創造事業

継続

59,314千円

徳島県農山漁村未来創造事業補助金を基本とし、農業用機械の導入や施設整備、また販売促進活動に対して県と市が併せて事業費の一部を支援し、農業に関する様々な課題等を解決することによって、本市農業の維持・発展を図ります。

令和4年度においては、法人7社のハード事業5件、ソフト事業4件に対し支援を行う予定です。

助成内容

-企画提案型

ハード事業 補助率 5/10以内(上限2,000万円)

ソフト事業 補助率 10/10以内(上限200万円)

☆ 農業発信スポーツ連携委託事業

継
続

2, 970千円

徳島インディゴソックス球団と連携し、阿波市ロゴ入りTシャツや公式戦ポスターの作成・配布、また本市産野菜等のECサイトの開設や選手による販売促進動画の配信など、球団公式HPやSNSを活用して地域農業や本市の様々な魅力を全国に向けて情報発信します。



〔徳島インディゴソックス選手の阿波市ロゴ入り T シャツやコラボポスター等〕

☆ 一般農道整備事業（県営土地改良事業）

継
続

7, 250千円

地域農業の活性化のために必要となる生産基盤を一体的に整備することによって営農の効率化を図るとともに、優良農地の保全や農業の多面的な機能を向上させ、より一層の農業振興を目指します。

☆ 企業立地・誘致促進事業

継
続

16, 659千円

阿波市企業立地促進条例の指定を受けた企業、または企業立地に関する連携協定等を締結した企業に対し、助成金の交付や課税免除を行うことで、企業の負担軽減と阿波市への定着を図ります。また、新たな企業の誘致に向け、相談窓口の設置や企業立地適地の選定を行うなど、サポート体制の充実を図ります。



〔西精工株式会社 新工場の全景〕

☆ スマートIC整備事業

継続

199,000千円

「農業の維持発展」、「企業誘致の促進」、「観光基盤の形成」、「南海トラフ巨大地震等大規模災害に対する防災・減災」などに多くの効果をもたらし、地方創生の起爆剤となる、「(仮称)阿波スマートインターチェンジの整備」事業に令和2年度から着手しています。

令和4年度からは、用地補償協議等を中心に着手し、早期の完成に努めます。



〔スマートICのイメージ図〕

☆ 市道矢松田中線改良工事

継続

164,000千円

主要地方道鳴門池田線と一般県道船戸切幡上板バイパス道路を結ぶ2級市道である、「市道矢松田中線の改良工事」を令和元年度から行っています。当該道路は地域住民の生活道として利用されているほか、観光客や大型バス等による参拝客が来訪する四国八十八箇所霊場九番札所法輪寺へのアクセス道路としても利用されています。改良工事を行うことで市民や観光客等の利便性の向上を図ります。



〔市道矢松田中線の工事箇所図及び現況写真〕

Ⅲ 子育て応援のまちづくり

子育て支援関係

☆ 子育て支援事業

18,240千円

○児童虐待防止対策支援事業（2,534千円）

新規

家庭児童相談室の機能を拡充し、児童虐待防止のため、福祉事務所内に子ども家庭総合支援拠点を設置します。支援拠点が地域に根差した身近な相談窓口となり、児童相談所との連携・協働の体制を構築することで、子ども家庭支援全般に係る業務の支援を妊娠期から子育て期にわたり継続して行うことのできる環境を整えます。

○吉野地区放課後児童クラブ施設整備事業（7,595千円）

新規

一条・柿原放課後児童クラブは、小学校の空き教室を利用して運営していることから、施設の広さに限界があり、今後待機児童の発生が見込まれます。放課後児童クラブ施設を新築することで、待機児童の発生の防止や、子どもたちが安心して過ごすことのできる環境づくりを行います。令和4年度は両クラブ整備工事に伴う設計を実施します。



〔放課後児童クラブでの児童の様子〕

○義務教育修了祝金支給事業（2,800千円）

継続

義務教育の修了に際し祝金を支給することで、高校の入学準備や社会人生活の支度に係る費用の経済的負担の軽減を図ります。

助成内容

対象者：阿波市に住所を有し、当該年度に中学校等を卒業する生徒を養育している保護者

支給額：生徒1人につき1万円

○奨学金返還支援事業（5,311千円）

継続

阿波市内に住民登録し居住する就労者のうち、平成29年度以降に奨学金の返還を開始した方に対し返還金の一部を助成します。制度周知の方法として、市HPや広報への掲載に加え、新たに県内外の大学等にチラシ・ポスターを配布し、さらなる周知の拡大を図り、制度の利用者を増加させることで、移住・定住の促進につなげます。

☆ 学校教育施設整備事業

88,646千円

○久勝小学校施設整備事業（8,854千円）

新規

久勝小学校の渡り廊下及び屋上は経年劣化により錆の発生や防水塗装の劣化が生じているため、塗装の改修を行います。

○吉野中学校施設整備事業（76,210千円）

新規

阿波市学校施設長寿命化計画に基づき、吉野中学校の屋内運動場の大規模改修を行うことに加え、屋外運動場夜間照明・防球ネットの改修も実施することで、安心して学ぶことのできる教育環境を整えとともに、避難所としての機能の向上を図ります。

令和4年度は屋外運動場夜間照明・防球ネット改修工事の設計監理・工事と、屋内運動場大規模改修工事については設計を実施します。

○市場中学校施設整備事業（3,582千円）

新規

市場中学校は、屋外運動場の夜間照明や、技術室など老朽化が進んでいるため、改修工事を実施し、安心して学ぶことのできる教育環境を整えます。

令和4年度は工事に伴う設計を実施します。



〔児童生徒の学校での活動風景〕

○吉野笠井図書館改修事業（55,538千円）

継続

吉野笠井図書館は、建築後40年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、屋根・外壁防水塗装工事、トイレの洋式化、照明のLED化などの大規模改修を行います。令和3年度中に設計を完了し、令和4年度に本格的に着工する予定です。



〔図書館まつりの様子〕

○阿波図書館調査事業（7,004千円）

新規

阿波図書館は、建築後25年が経過し、施設全体の老朽化が進んでいます。長寿命化対策の設計や施工を検討するために、令和4年度に建物・地質調査を行います。

○市場公民館改修事業（2,852千円）

新規

市場公民館は、建築後40年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、大規模改修を行い、施設の機能向上及び利用者の利便性の向上を図ります。令和4年度は設計を行い、令和5年度に改修工事を実施します。



〔公民館活動の様子〕

○阿波市民球場改修事業（8,357千円）

新規

阿波市民球場は、建築後33年が経過し、施設全体の老朽化が進んでいることから、改修を行い、今後も県北西部を代表する軟式野球場の拠点施設として利用者が安心して使用できる環境と施設の利便性の向上を図ります。



〔市民球場での野球教室の様子〕

校務用ノートPC、サーバ等を更新するとともに、令和3年度から実施している電子黒板型プロジェクターの整備も継続して実施します。

学校のICT機器を最新のものにしていくことで、GIGAスクール構想の実現を図り、また、新型コロナウイルスの感染再拡大により学校が臨時休校となった場合でも、ICT機器の活用により安定した切れ目のない学習を行うことのできる環境・体制の構築を目指します。



〔電子黒板やタブレットPCを用いた授業の様子〕

